

2019年1月4日

鹿児島大学病院脳神経外科で
悪性神経膠芽腫の治療を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

グリオブラストーマに対する first-in-class の治療創薬

【研究機関】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科
教授 吉本幸司

【研究の目的】

悪性神経膠芽腫（グリオブラストーマ）は予後不良の疾患ですが、効果の高い治療方法は確立していません。悪性神経膠芽腫で発現が高まっている ALKBH5 という分子がその増殖に重要であると報告されています。しかしながら、ALKBH5 の活性を阻害する薬剤の効果については、十分な検討がされていません。ALKBH 脱メチル化酵素に対する阻害剤の効果ならびにその作用機序を調べ、創薬研究を実施したいと考えています。

【研究の方法】

本研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍学と大阪大学薬学部薬学研究科と共同研究を行います。

手術によって得られた腫瘍細胞と正常部位を大阪大学薬学部に提供して、培養細胞を作製し、薬剤の効果を調査します。

主要評価項目：悪性神経膠芽腫における ALKBH 脱メチル化酵素に対する阻害剤の *in vitro* 殺細胞作用と *in vivo* 抗腫瘍作用の評価

副次評価項目：悪性神経膠芽腫の分子レベルでの性状解析と ALKBH 脱メチル化酵素阻害剤の殺細胞作用機序の解析

【対象となる患者さん】

1981年1月1日から2022年2月28日までに、鹿児島大学病院脳神経で悪性膠芽腫と診断され、摘出手術を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

患者さんの症状や臨床データ、画像および検査データなどを参照させていただきます。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野、分子腫瘍学分野、大阪大学薬学研究科細胞生物分野の研究費（使途特定寄附金）と公的研究費で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けて

いませので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

教授 吉本幸司

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041